This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problem Mailbox.

Japan Patent Office Utility Model Laying Open Gazette

Utility Model Laying-Open No.

55.161573

Date of Laying-Open:

November 20, 1980

International Class:

A 63 B 71/14

(3 pages in all)

Title of the Invention:

Glove for Baseball

Utility Model Appln. No.

54.62343

Filing Date:

May 9, 1979

Inventor:

Kiyoshi GOTO

Applicant:

Kiyoshi GOTO

(transliterated, therefore the spelling might be incorrect)

Partial Translation

What is claimed is:

1. A baseball glove prepared by forming a reinforcing part in a finger receiving portion by doubly folding back a side end of a finger control member consisting of an annular band adjustably bound to a leather palm body and a leather back with binding strings.

⑩ 日本国特許庁 (JP)

①実用新案出願公開

@ 公開実用新寒公報(U)

昭55-161573

(1) Int. Cl.³
A 63 B 71/14

識別記号

庁内**空理番号** 6970—2C

公公開 昭和55年(1980)11月20日

審査請求 未請求

(全 3 頁)

❸野球用グロープ

砂実

願 昭54-62343

②出

類 昭54(1979)5月9日

@考 來 者 後藤滑

砂突用新突登録節求の節囲

- 2 補強部の折返し内部に、芯材をそう入した実 用新案登録篩求の範囲第1項配徴の野球用グロ ープの
- 4 芯材が合成樹脂管よりなる奥用新案登録節求 の範囲第2項記憶の野球用グロープ。
- 5 芯材がコイル状のスプリングからなる奥用新

大阪市天王寺区小橋町13番地の

1

⑪出 願 人 後藤滑

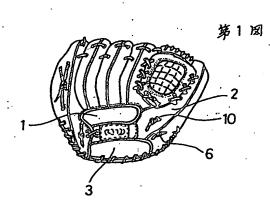
大阪市天王寺区小橋町13番地の

1

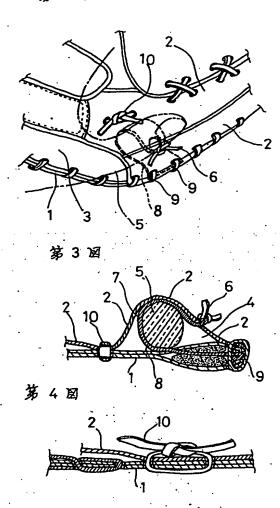
案登録額求の範囲第2項記録の野球用グロープ。 図面の簡単な説明

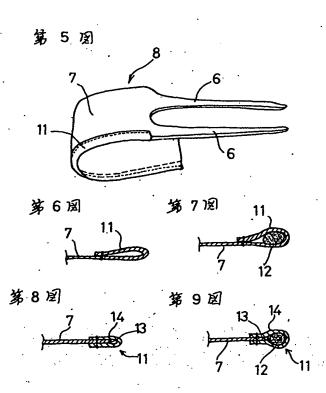
図面は本考案の実旋例を示し、第1図は野球用 グロープ本体を示す全体斜視図、第2図は第1図 の要部拡大図、第3図は第2図の要部断面図、第 4図は結縛ひもの結縛状態を示した断面図、第5 図は手指制止部材を示す斜視図、第6図および第 7図は手指制止部材の補強部を示した断面図、第 8図、第9図は補強部の別の実旋例を示した断面 図である。

1…… 掌皮本体、2…… 甲皮、4…… 親指そう 入部、6…… 叉ひも、7…… 環状帯、8…… 手指 制止部材、11…… 補強部材、12…… 芯材。



第2图





公開実用 昭和55—161573



実用新案登錄願

昭和54年 5月 月



特許庁長官 熊に巻 善 二 殿

1. 考 案 の 名 称 野球用クローブ

考 案 者

住 所 (居 所)

氏 名 実用新案登録出願人に同じ

3. 实用析案登録出節人 〒54

住 所(居 所)

テンププション かまチョウ 大阪市天王寺区小橋町 1 3 番他の 1

氏名(名称)

ゴ トゥ キョシ

4. 旅付書類の目録

(1) 明 細 客

1 难

(2)図 匝

1 潘

(3)频谱刷本

通

18/51/3

明細管

- 1、考案の名称 野球用グローブ
- 2、実用新業登録请求の範囲

1、手指そう入部内に、掌皮本体と甲皮に結構ひ もで調節自在に結構した環状帯からなる手指制止 部材の側端部を二流に祈返して哺強部を形成した ことを特徴とする野球用グローブ。

2、補強部の折返し内部に、X、材をそう入した要用新零登城請求の範囲第1項記載の野球用グローフ。

3、心材が合成樹脂ひもよりなる実用新案登録請求の範囲第2項記載の野球用グローブ。

4、芯材が合成樹脂管よりなる実用新安登録請求の範囲第2項記載の野球用グローフ。

5、心材がコイル状のスプリングからなる実用新案登録請求の範囲第2項記載の野球用グローブ。

3、考案の詳細な説明

本考案は、野球用グローブの改良に関するもので、その目的はグローブに取付けた手指制止部材に、構球用手指が容易にそう入できる手段を備え

16/5/13

公開実用 昭和55—181573

た野球用グローブを提供することにある。

野球用グローブに取付けた環状帯からなる手指制止部材は、そう入した捕球用手指が所定位置から移動して、突き指をしたり、落球したりすることがないように、手指の移動を制止するものであるが、使用に際して手指制止部材に手指をそう入しようとするとき、該そう入部が稀平したり、ねじれたりして、そう入しにくく、しかもわずらわしい。

本考案は上記の欠点を除去するためになされたもので、以下その実施の態様を例示図にもとづいて説明する。

第1図は野球用グローブを示し、皮製の掌皮本体1の背面に甲皮2を備え、下部に下部に閉口した捕球用手指のそう入部3を有する。そう入部3のうち、親指そう入部4内に、親指6の太さに適合する一端が乗びも6でできた環状帯7からなる手指制止部材8を、グローブの甲皮2に貫通して更から6をそう通し結構するとともに、他端を掌皮本体1と甲皮2とともに一体的に経合9して環

状となす。さらに好ましくは観指モう入部4の近傍に、本皮本体1と甲皮2とを貫通するように結縛ひも10をモう通し、その端部を甲皮2表面で調節自在に結縛すれば一層モう入した現指5を確実に制止させることができる。第5図は、手指制度に制化を示し、6は叉ひもで、7は環状帯である。11は補強部で、第6図に示すように環状帯7の側端部を二重に折返して経製されている。第7図は、補強部11の内部に、例えば合成樹脂で、コイル状のスプリング等からなるの機性の弾性が材12を介在させた実施例を示したものである。

なお第8図は補強部材11の別の実施例を示し 環状帯7の側端部13を、別に作製した二重折り の帯ひも14ではさみ発製したものである。また 第9図は前記帯ひも14内部に芯材12を介在させた実施例を示したものである。

本案は、親指以外の小指等についても同様に実施できるものである。

上記構成によれば、グローフを使用するに際し

公開実用 昭和55—161573

4、図面の簡単な説明

习部队

図は手指制止部材を示す斜視図、第6図および第7図は手指制止部材の補強部を示した断面図、第8図、第9図は補強部の別の実施例を示した断面図である。

2 * * * * * * * 皮

4 · · · · · · · 親指 そ う 入 部

6 · · · · · · · · 又 ひ も

8 · · · · · · 手指制止部材

1 1 · · · · · · · 補強部材

1 2 · · · · · · · 茨 材

実用新案登録出版人 後 藤 清

第1图

